

○厚生労働省告示第百二号

診療報酬の算定方法（平成二十年厚生労働省告示第五十九号）並びに保険医療機関及び保険医療費担当規則（昭和三十二年厚生省令第十五号）第二十条第二号ト及び高齢者の医療の確保に関する法律の規定による療養の給付等の取扱い及び担当に関する基準（昭和三十八年厚生省告示第十四号）第二十条第三号トの規定に基づき、使用薬剤の薬価（薬価基準）等の一部を改正する告示を次のように定め、令和元年九月四日から適用する。ただし、第二条の規定は、同年十月一日以後に行われる療養に関する費用の額の算定について適用し、同年九月三十日以前に行われた療養に関する費用の額の算定については、なお従前の例による。

令和元年九月三日

厚生労働大臣 根本 匠

使用薬剤の薬価（薬価基準）等の一部を改正する告示

（使用薬剤の薬価（薬価基準）の一部改正）

第一条 使用薬剤の薬価（薬価基準）（平成二十年厚生労働省告示第六十号）の一部を次の表のように改正する。

(傍線部分は改正部分)

改正後	改正前
<p>別表 第1部～第21部 (略) 第22部 追 補 (18) 内 用 薬 品 名 規 格 単 位 薬 価 円</p> <p>(う)</p> <p><u>ヴァンフリタ錠17.7mg</u> <u>17.7mg 1錠</u> <u>19,694.90</u> <u>ヴァンフリタ錠26.5mg</u> <u>26.5mg 1錠</u> <u>26,582.10</u></p> <p>(み)</p> <p><u>ミニリンメルトOD錠25μg</u> <u>25μg 1錠</u> <u>59.50</u> <u>ミニリンメルトOD錠50μg</u> <u>50μg 1錠</u> <u>100.00</u></p> <p>(ろ)</p> <p><u>ロズリートレクカプセル100mg</u> <u>100mg 1カプセル</u> <u>5,214.20</u> <u>ロズリートレクカプセル200mg</u> <u>200mg 1カプセル</u> <u>9,889.90</u></p> <p>注 射 薬 品 名 規 格 単 位 薬 価 円</p> <p>(お)</p> <p><u>オンパットロ点滴静注 2mg/mL</u> <u>8.8mg4.4mL 1瓶</u> <u>986,097</u></p> <p>(こ)</p> <p><u>コラテジェン筋注用 4mg</u> <u>4mg1.6mL 1瓶</u> <u>600,360</u></p> <p>(そ)</p> <p><u>ゾルトファイ配合注フレック スタッチ</u> <u>1キット</u> <u>5,293</u></p>	<p>別表 第1部～第21部 (略) (新設)</p>

<u>(て)</u>		
<u>デファイテリオ静注200mg</u>	<u>200mg2.5mL 1瓶</u>	<u>53,108</u>
<u>(ゆ)</u>		
<u>ユルトミリス点滴静注300mg</u>	<u>300mg30mL 1瓶</u>	<u>717,605</u>
<u>外</u>	<u>用</u>	<u>薬</u>
<u>品</u>	<u>名</u>	<u>規</u>
	<u>格</u>	<u>単</u>
	<u>位</u>	<u>薬</u>
		<u>価</u>
		<u>円</u>
<u>(あ)</u>		
<u>アジマイシン点眼液1%</u>	<u>1% 1mL</u>	<u>302.20</u>
<u>(い)</u>		
<u>イナビル吸入懸濁用160mgセツ</u>	<u>160mg 1瓶</u>	<u>4,164.40</u>
<u>ト</u>		
<u>(ひ)</u>		
<u>ビベスピエアロスフィア28吸</u>	<u>28吸入 1キット</u>	<u>1,780.30</u>
<u>入</u>		
<u>ビレーズトリエアロスフィア5</u>	<u>56吸入 1キット</u>	<u>4,074.80</u>
<u>6吸入</u>		
<u>(ろ)</u>		
<u>ロナセンテープ20mg</u>	<u>20mg 1枚</u>	<u>278.40</u>
<u>ロナセンテープ30mg</u>	<u>30mg 1枚</u>	<u>401.30</u>
<u>ロナセンテープ40mg</u>	<u>40mg 1枚</u>	<u>520.20</u>

(使用薬剤の薬価(薬価基準)の一部改正)

第二条 使用薬剤の薬価(薬価基準)の一部を次の表のように改正する。

(傍線部分は改正部分)

改正後	改正前
<p>別表 第1部～第4部 (略) 第5部 追 補 (1) 内 用 薬 品 名 規 格 単 位 薬 価 円</p> <p>(う)</p> <p><u>ヴァンフリタ錠17.7mg</u> <u>17.7mg 1錠</u> <u>20,059.60</u> <u>ヴァンフリタ錠26.5mg</u> <u>26.5mg 1錠</u> <u>27,074.40</u></p> <p>(み)</p> <p><u>ミニリンメルトOD錠25μg</u> <u>25μg 1錠</u> <u>57.50</u> <u>ミニリンメルトOD錠50μg</u> <u>50μg 1錠</u> <u>96.60</u></p> <p>(ろ)</p> <p><u>ロズリートレクカプセル100mg</u> <u>100mg 1カプセル</u> <u>5,310.80</u> <u>ロズリートレクカプセル200mg</u> <u>200mg 1カプセル</u> <u>10,073.00</u></p> <p>注 射 薬 品 名 規 格 単 位 薬 価 円</p> <p>(お)</p> <p><u>オンパットロ点滴静注 2mg/mL</u> <u>8.8mg4.4mL 1瓶</u> <u>1,004,358</u></p> <p>(こ)</p> <p><u>コラテジェン筋注用 4mg</u> <u>4mg1.6mL 1瓶</u> <u>611,478</u></p> <p>(そ)</p> <p><u>ゾルトファイ配合注フレック スタッチ</u> <u>1キット</u> <u>5,359</u></p>	<p>別表 第1部～第4部 (略) (新設)</p>

<u>(て)</u>		
<u>デファイテリオ静注200mg</u>	<u>200mg2.5mL 1 瓶</u>	<u>54,091</u>
<u>(ゆ)</u>		
<u>ユルトミリス点滴静注300mg</u>	<u>300mg30mL 1 瓶</u>	<u>730,894</u>
<u>外</u>	<u>用</u>	<u>薬</u>
<u>品</u>	<u>名</u>	<u>規 格 単 位</u>
		<u>薬 価</u>
		<u>円</u>
<u>(あ)</u>		
<u>アジマイシン点眼液 1 %</u>	<u>1 % 1 mL</u>	<u>307.80</u>
<u>(い)</u>		
<u>イナビル吸入懸濁用160mgセツ</u>	<u>160mg 1 瓶</u>	<u>4,241.50</u>
<u>ト</u>		
<u>(ひ)</u>		
<u>ビベスピエアロスフィア28吸</u>	<u>28吸入 1 キット</u>	<u>1,787.00</u>
<u>入</u>		
<u>ビレーズトリエアロスフィア5</u>	<u>56吸入 1 キット</u>	<u>4,150.30</u>
<u>6吸入</u>		
<u>(ろ)</u>		
<u>ロナセンテープ20mg</u>	<u>20mg 1 枚</u>	<u>273.60</u>
<u>ロナセンテープ30mg</u>	<u>30mg 1 枚</u>	<u>394.30</u>
<u>ロナセンテープ40mg</u>	<u>40mg 1 枚</u>	<u>511.20</u>

(療担規則及び薬担規則並びに療担基準に基づき厚生労働大臣が定める掲示事項等の一部改正)

第三条 療担規則及び薬担規則並びに療担基準に基づき厚生労働大臣が定める掲示事項等(平成十八年厚生労働省告示第百七号)の一部を次の表のように改正する。

改正後

改正前

第一〇第九 (略)
第十 厚生労働大臣が定める注射薬等
一 療担規則第二十条第二号ト及び療担基準第二十条第三号トの厚生労働大臣が定める保険医が投与することができる注射薬
インスリン製剤、ヒト成長ホルモン剤、遺伝子組換え活性化型血液凝固第VII因子製剤、乾燥濃縮人血液凝固第X因子加活性化血液凝固第VII因子製剤、乾燥人血液凝固第VIII因子製剤、遺伝子組換え型血液凝固第IX因子製剤、活性化プロトロンビン複合体、乾燥人血液凝固因子抗体迂回活性化複合体、性腺刺激ホルモン放出ホルモン剤、性腺刺激ホルモン製剤、ゴナドトロピン放出ホルモン誘導体、ソマトスタチンアナログ、顆粒球コロニー形成刺激因子製剤、自己連続携行式腹膜灌流用灌流液、在宅中心静脈栄養法用輸液、インターフェロンアルファ製剤、インターフェロンベータ製剤、ブプレノルフィン製剤、抗悪性腫瘍剤、グルカゴン製剤、グルカゴン様ペプチド1受容体アゴニスト、ヒトソマトメジンC製剤、人工腎臓用透析液(在宅血液透析を行つてゐる患者(以下「在宅血液透析患者」という。))に対して使用する場合に限る。)、血液凝固阻止剤(在宅血液透析患者に対して使用する場合に限る。)、生理食塩水(在宅血液透析患者に対して使用する場合及び本号に掲げる注射薬を投与するに当たりその溶解又は希釈に用いる場合に限る。)、プロスタグランジンI₂製剤、モルヒネ塩酸塩製剤、エタネルセプト製剤、注射用水(本号に掲げる注射薬を投与するに当たりその溶解又は希釈に用いる場合に限る。)、ペグビソマント製剤、スマトリプタン製剤、フェンタニルクエン酸塩製剤、複方オキシシドロン製剤、ベタメタゾリン酸エステルナトリウム製剤、

第一〇第九 (略)
第十 厚生労働大臣が定める注射薬等
一 療担規則第二十条第二号ト及び療担基準第二十条第三号トの厚生労働大臣が定める保険医が投与することができる注射薬
インスリン製剤、ヒト成長ホルモン剤、遺伝子組換え活性化型血液凝固第VII因子製剤、乾燥濃縮人血液凝固第X因子加活性化血液凝固第VII因子製剤、乾燥人血液凝固第VIII因子製剤、遺伝子組換え型血液凝固第IX因子製剤、活性化プロトロンビン複合体、乾燥人血液凝固因子抗体迂回活性化複合体、性腺刺激ホルモン放出ホルモン剤、性腺刺激ホルモン製剤、ゴナドトロピン放出ホルモン誘導体、ソマトスタチンアナログ、顆粒球コロニー形成刺激因子製剤、自己連続携行式腹膜灌流用灌流液、在宅中心静脈栄養法用輸液、インターフェロンアルファ製剤、インターフェロンベータ製剤、ブプレノルフィン製剤、抗悪性腫瘍剤、グルカゴン製剤、グルカゴン様ペプチド1受容体アゴニスト、ヒトソマトメジンC製剤、人工腎臓用透析液(在宅血液透析を行つてゐる患者(以下「在宅血液透析患者」という。))に対して使用する場合に限る。)、血液凝固阻止剤(在宅血液透析患者に対して使用する場合に限る。)、生理食塩水(在宅血液透析患者に対して使用する場合及び本号に掲げる注射薬を投与するに当たりその溶解又は希釈に用いる場合に限る。)、プロスタグランジンI₂製剤、モルヒネ塩酸塩製剤、エタネルセプト製剤、注射用水(本号に掲げる注射薬を投与するに当たりその溶解又は希釈に用いる場合に限る。)、ペグビソマント製剤、スマトリプタン製剤、フェンタニルクエン酸塩製剤、複方オキシシドロン製剤、ベタメタゾリン酸エステルナトリウム製剤、

デキサメタゾンリン酸エステルナトリウム製剤、デキサメタゾンメタスルホ安息香酸エステルナトリウム製剤、プロトンポンプ阻害剤、H₂遮断剤、カルバゾクロムスルホン酸ナトリウム製剤、トラネキサム酸製剤、フルルビプロフェンアキセチル製剤、メトクロプラミド製剤、プロクロルペラジン製剤、ブチルスコポラミン臭化物製剤、グリチルリチン酸モノアンモニウム・グリシン・L-システイン塩酸塩配合剤、アダリムマブ製剤、エリスロポエチン（在宅血液透析又は在宅腹膜灌流を行って^{かん}いる患者のうち腎性貧血状態にあるものに対して使用する場合には限る。）、ダルベポエチン（在宅血液透析又は在宅腹膜灌流を行って^{かん}いる患者のうち腎性貧血状態にあるものに対して使用する場合には限る。）、テリパラチド製剤、アドレナリン製剤、ヘパリンカルシウム製剤、オキシコドン塩酸塩製剤、アポモルヒネ塩酸塩製剤、セルトリズマブペゴル製剤、トシリズマブ製剤、メトレプレチン製剤、アバタセプト製剤、pH4処理酸性人免疫グロブリン（皮下注射）製剤、電解質製剤、注射用抗菌薬、エダラボン製剤（筋萎縮性側索硬化症患者に対して使用する場合には限る。）、アスホターゼ アルファ製剤、グラチラマー酢酸塩製剤、脂肪乳剤、セクキヌマブ製剤、エボロクマブ製剤、ブロダルマブ製剤、アリロクマブ製剤、ベリムマブ製剤、イクセキズマブ製剤、ゴリムマブ製剤、エミシズマブ製剤、イカチバント製剤、サリルマブ製剤、デュピルマブ製剤、ヒドロモルフォン塩酸塩製剤及びインスリン・グルカゴン様ペプチド

二
（略）

第十一（略）
第十五（略）

デキサメタゾンリン酸エステルナトリウム製剤、デキサメタゾンメタスルホ安息香酸エステルナトリウム製剤、プロトンポンプ阻害剤、H₂遮断剤、カルバゾクロムスルホン酸ナトリウム製剤、トラネキサム酸製剤、フルルビプロフェンアキセチル製剤、メトクロプラミド製剤、プロクロルペラジン製剤、ブチルスコポラミン臭化物製剤、グリチルリチン酸モノアンモニウム・グリシン・L-システイン塩酸塩配合剤、アダリムマブ製剤、エリスロポエチン（在宅血液透析又は在宅腹膜灌流を行って^{かん}いる患者のうち腎性貧血状態にあるものに対して使用する場合には限る。）、ダルベポエチン（在宅血液透析又は在宅腹膜灌流を行って^{かん}いる患者のうち腎性貧血状態にあるものに対して使用する場合には限る。）、テリパラチド製剤、アドレナリン製剤、ヘパリンカルシウム製剤、オキシコドン塩酸塩製剤、アポモルヒネ塩酸塩製剤、セルトリズマブペゴル製剤、トシリズマブ製剤、メトレプレチン製剤、アバタセプト製剤、pH4処理酸性人免疫グロブリン（皮下注射）製剤、電解質製剤、注射用抗菌薬、エダラボン製剤（筋萎縮性側索硬化症患者に対して使用する場合には限る。）、アスホターゼ アルファ製剤、グラチラマー酢酸塩製剤、脂肪乳剤、セクキヌマブ製剤、エボロクマブ製剤、ブロダルマブ製剤、アリロクマブ製剤、ベリムマブ製剤、イクセキズマブ製剤、ゴリムマブ製剤、エミシズマブ製剤、イカチバント製剤、サリルマブ製剤、デュピルマブ製剤及びヒドロモルフォン塩酸塩製剤

二
（略）

第十一（略）
第十五（略）

(特掲診療料の施設基準等の一部改正)

第四条 特掲診療料の施設基準等(平成二十年厚生労働省告示第六十三号)の一部を次の表のように改正する。

(傍線部分は改正部分)

改正後	改正前
<p>別表第一～別表第八の四 (略)</p> <p>別表第九 在宅自己注射指導管理料、間歇^{けつ}注入シリンジポンプ加算、持続血糖測定器加算及び注入器用注射針加算に規定する注射薬 (略)</p> <p>デュピルマブ製剤</p> <p>インスリン・グルカゴン様ペプチド-1受容体アゴニスト配 合剤</p> <p>別表第九の一の二～別表第十三 (略)</p>	<p>別表第一～別表第八の四 (略)</p> <p>別表第九 在宅自己注射指導管理料、間歇^{けつ}注入シリンジポンプ加算、持続血糖測定器加算及び注入器用注射針加算に規定する注射薬 (略)</p> <p>デュピルマブ製剤</p> <p>(新設)</p> <p>別表第九の一の二～別表第十三 (略)</p>